

会 報

日本熱測定学会第21回通常総会

日 時：1994年11月1日（火） 16：15 - 17：00

会 場：千里ライフサイエンスセンター

（第30回記念熱測定討論会会場）

総会の成立

総会出席者は委任状（358通）を含めて393名、正会員総数（892名）の4分の1をこえるので、第21回通常総会は会則第17条により成立することとなります。

議 題

1. 1994年度事業報告
2. 1994年度収支決算承認の件
3. 会則の改正

「第6章 役員」の定数および選出方法の改正について

4. 1995年度役員の内
5. 1995年度事業計画決議の件
6. 1995年度収支予算決議の件
7. その他

1. 1994年度事業報告（1993. 10. 1～1994. 9. 30）

① 会員状況 （ ）内は維持会員口数

| | 93. 10. 1 | 入会者 | 退会者 | 94. 9. 30 |
|------|-----------|-------|-------|-----------|
| 正会員 | 867 | 44 | 53 | 858 |
| 学生会員 | 29 | 8 | 3 | 34 |
| 維持会員 | 38 (71) | 1 (1) | 3 (3) | 36 (69) |

② 集会関係

- 1) 委員会1回（長岡1回）、幹事会4回（長岡1回、東京3回）、庶務幹事会2回（東京2回）、編集委員会3回（東京1回、大阪2回）
- 2) 第29回熱測定討論会（1993. 10. 27～29、長岡長岡グランドホテル）
発表件数 一般発表 132件、ミニシンポジウム「ガラスと熱測定」18件、特別講演 5件
参加者数 275名
- 3) 第20回通常総会（1993. 10. 28、長岡）
熱測定 Vol. 21, No. 1 (1994) 48 参照
- 4) 第30回記念熱測定討論会運営委員会2回

（1994. 7、大阪）

- 5) 第27回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」（1994. 2. 21～23、東京）参加者 87名
- 6) 第28回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」（1994. 7. 11～13、京都）参加者 84名
- 7) 第16回熱測定ワークショップ「レーザフラッシュ法と熱測定」（1993. 12. 13、つくば）参加者 52名
- 8) 第17回熱測定ワークショップ「溶液の熱力学的性質と溶液構造」（1994. 5. 21、大阪）参加者 40名
- 10) 第3回国際および日中合同熱測定シンポジウム（共催：中国化学会熱測定部会、1994. 6. 6～9、中華人民共和国 西安）

③ 共催・協賛関係

共 催：第11回分析のおよび応用熱分解に関する国際シンポジウム（主催：PYROLYSIS '94 組織委員会、1994. 5. 30～6. 3、名古屋）

協 賛：第3回「基礎研究の振興と工学教育」シンポジウム（主催：日本工学会、1993. 10. 4、東京）

：第4回食品ハイドロコロイドシンポジウム（主催：食品ハイドロコロイド研究会、1993. 10. 18、大阪）

：第14回日本熱物性シンポジウム（主催：日本熱物性学会、1993. 11. 10～12、横浜）

：環境のキーワード熱工学（主催：日本学術会議熱工学研究連絡委員会、1993. 11. 24、東京）

：第1回日本学術会議界面シンポジウム「界面制御による先端材料の機能創製」（主催：日本学術会議材料工学研究連絡委員会、1994. 4. 26、東京）

：「材料をめぐる政策と産業動向」総合シンポジウム（第2回）（主催：日本学術会議材料工学研究連絡委員会・日本学術会議金属工学研究連絡委員会、1994. 4. 28、東京）

：'94新素材展（主催：日本経済新聞社・材料連合フォーラム、1994. 5. 17～20、幕張）

：第5回食品ハイドロコロイドシンポジウム（主催：食品ハイドロコロイド研究会、1994. 6. 10、大阪）

：金属学会セミナー「材料開発・設計における状態図の基礎と応用」（主催：日本金属学会、1994. 7. 4～5、仙台）

：金属学会セミナー「局所領域におけるキャラ

クタリゼーション(Ⅱ)](主催:日本金属学会,
1994.9.21~22,東京)

後援:第6回中国四国科学機器展,第2回計測・制御
・検査機器展(主催:中国四国科学機器協会,
1994.5.20~22,広島)

④ 出版関係

1) 会誌「熱測定」の編集・発行

Vol. 20, No. 4とVol. 20, No. 5「Vol. 20記念号
研究グループ紹介・総目次・著者一覧」は1,250部,
Vol. 21, No. 1~No. 3は1,200部
Vol. 20, No. 4 52頁
Vol. 20, No. 5 76頁
Vol. 21, No. 1~No. 3 は150頁 計278頁
(別に会告40頁)

Vol. 21, No. 4の編集

内容:巻頭言1,論文15,ノート1,総説2,
解説3,資料2,熱測定応用研究の頁4
その他レポート,会員の頁,記事,
会報,追悼文,日本学術会議だより,
国際会議のお知らせ など

⑤ グループ活動

- 1) 熱測定応用研究グループ(主査:前園明一):
会合1回(長岡),会誌「熱測定」の熱測定応用研究
の頁に協力
- 2) 熱力学データベース作業グループ(主査:山内
繁),サブグループ(分圧制御ソフト開発作業グルー
プ,世話人:協原将孝)

⑥ 国際協力

- 1) 国際学術団体(IUPAC, ICTAC, CODATA)と
の協力など
IUPAC:松尾隆祐(阪大理) I.2 化学熱力学委
員会国家代表
ICTAC:学会として加盟
小沢丈夫(ダイセル化学工業)会長
十時 稔(東レリサーチセンター)評議員
CODATA:山内 繁(国立リハビリセンター)
- 2) IUPAC国際化学熱力学会議(1996年) ICCT-96
の日本開催
組織委員会を発足

2. 1994年度収支決算(1993.10.1~1994.9.30)

| 項目 | 決算額(円) | 予算額(円) |
|-----------------------|------------|------------|
| 収入 | 11,120,281 | 11,072,000 |
| (I) 会費収入 | 5,728,000 | 5,720,000 |
| 1. 正会員会費 | 4,174,000 | 4,350,000 |
| 2. 学生会員会費 | 114,000 | 90,000 |
| 3. 維持会員会費 | 1,440,000 | 1,280,000 |
| (II) 事業収入 | 5,192,816 | 4,350,000 |
| 1. 会誌発行収入 | 2,197,664 | 2,400,000 |
| 広告料 | 1,511,525 | |
| 別刷収入 | 391,442 | |
| 購読料 | 294,697 | |
| 2. 29回討論会収入 | 130,792 | 200,000 |
| 3. 27, 28回講習会収入 | 2,864,360 | 1,750,000 |
| (III) 特集号発行分(前記繰越金より) | 0 | 800,000 |
| (IV) 雑収入 | 199,465 | 202,000 |
| 支出 | 10,432,654 | 11,072,000 |
| (I) 事業費 | 6,226,949 | 6,750,000 |
| 1. 会誌発行費 | 5,533,652 | 6,100,000 |
| 印刷代(会誌4冊) | 4,033,367 | |
| 印刷代(特集号) | 453,200 | |
| 別刷代 | 262,908 | |
| 原稿料 | 231,054 | |
| 発送費 | 553,123 | |
| 2. 研究グループ | 28,554 | 80,000 |
| 3. ワークショップ・講演会 | 344,743 | 300,000 |
| 4. 30回討論会準備金 | 300,000 | 200,000 |
| 5. 国際協力費 | 20,000 | 20,000 |
| 6. 予備費 | 0 | 50,000 |
| (II) 管理費 | 4,205,705 | 4,322,000 |
| 1. 会議費 | 279,199 | 300,000 |
| 2. 会議交通費 | 875,710 | 800,000 |
| 3. 事務局費 | 2,472,000 | 2,472,000 |
| 4. 通信費 | 246,471 | 450,000 |
| 5. 消耗品費 | 248,410 | 250,000 |
| 6. 雑費 | 83,915 | 50,000 |
| 差引残高 | 687,627 | 0 |
| 前期繰越剰余金 | 2,825,442 | |
| 熱測定特別基金へ | 1,500,000 | |
| 次期繰越剰余金 | 2,013,069 | |

1994年度特別会計熱測定特別基金 5,960,508

3. 会則の改正

日本熱測定学会会則 (案)

| 現 行 | 改 定 後 |
|--|---|
| <p>第6章 役員</p> <p>第19条 本会に次の役員をおく。 会長1名, 委員約30名, 幹事8名, 会計監査1名</p> <p>第20条 会長は本会を代表し, 委員会において決定された方針にもとづき会務を統理する。</p> <p>第21条 会長は前会長が推薦し, 委員会で選任する。 会長に事故あるときは, あらかじめ会長の指名した幹事が代行する。</p> <p>第22条 会長は顧問を委嘱することができる。顧問は本会の運営に関して会長の諮問に応じ必要な助言を行う。</p> <p>第23条 委員会は委員選挙規定により選出された約30名の委員により構成される。委員会は本会の運営に関する事項および会長が付議した事項を審議する。</p> <p>第24条 委員会は会長が召集し, その議長は会長がつとめる。</p> <p>第25条 委員会は幹事8名を選出する。</p> <p>第26条 幹事8名は幹事会を構成し, 本会の諸事業の運営, 決算および予算, その他必要な事項を審議する。幹事会は会計幹事, 庶務幹事, 編集幹事, 企画幹事を選出する。 幹事会は本会の事業を正しく運営するための細則をとりきめることができる。</p> <p>第27条 幹事会は会長が召集し, その議長は会長がつとめる。</p> <p>第9章 委員選挙規定</p> <p>第33条 投票は正会員の郵便投票により正会員中より5名連記, 無記名で行なう。</p> <p>第34条 幹事会は推薦候補者を立てることができる。</p> <p>第35条 正会員は5名以上の連名で推薦候補者を立てることができる。</p> | <p>第6章 役員</p> <p>第19条 本会に次の役員をおく。 会長1名, 委員約30名, 幹事10名, 会計監査1名</p> <p>第21条 <u>会長は, 正会員および学生会員の郵便投票により正会員の中から選出する。正会員は10名以上の連名で推薦候補者を立てることができる。</u> 会長に事故あるときは, あらかじめ会長の指名した幹事が代行する。</p> <p>第25条 委員会は幹事10名を選出する。</p> <p>第26条 幹事10名は幹事会を構成し, 本会の諸事業の運営, 決算および予算, その他必要な事項を審議する。幹事会は会計幹事2名, 庶務幹事2名, 編集幹事2名, 企画幹事4名を選出する。 幹事会は本会の事業を正しく運営するための細則をとりきめることができる。</p> |

4. 1995年度役員 (1994. 10. 1~1995. 9. 30)

○印1995年度・1996年度役員

会 長 小 沢 丈 夫 (ダイセル化学工業)

- 委 員 ○ 阿 竹 徹 (東工大工材研)
 青 木 宏 之 (岡山理大理)
 ○ 伊 佐 公 男 (福井大教育)
 石 切 山 一 彦 (東レリサーチ)
 石 黒 慎 一 (東工大総合理工)
 泉 川 智 (山之内製菓)
 板 垣 乙未生 (東北大素材研)
 稲 葉 章 (阪大理)
 ○ 稲 場 秀 明 (川崎製鐵)
 ○ 上 平 初 穂 (生命工研)
 扇 沢 敏 明 (物質工研)
 ○ 小 川 英 生 (東京電機大理工)
 ○ 沖 野 孝 之 (島津製作所)
 ○ 神 本 正 行 (電総研)
 ○ 木 下 良 一 (セイコー電子工業)
 月 向 邦 彦 (名大農)
 齋 藤 一 弥 (都立大理)
 ○ 猿 山 靖 夫 (京都工芸繊維大)
 柴 崎 芳 夫 (埼玉大理)
 嶋 田 志 郎 (北大工)
 ○ 高 崎 洋 一 (真空理工)
 ○ 高 橋 一 好 (マックサイエンス)
 ○ 田 中 春 彦 (広島大学校教育)
 ○ 辻 利 秀 (名大工)
 ○ 中 村 利 寿 (東京理工)
 西 成 勝 好 (阪市大生活科学)
 ○ 橋 本 寿 正 (東工大工)
 ○ 八 田 一 郎 (名大工)
 平 松 信 康 (福岡大理)
 ○ 藤 田 幸 久 (兵庫医大)
 ○ 馬 越 淳 (農生資)
 丸 山 俊 夫 (東工大工)
 村 上 幸 夫 (阪市大理)
 ○ 桃 田 道 彦 (理学電機)
 山 崎 淳 司 (早大理工)
 ○ 山 村 雅 一 (東海大医)
 山 室 修 (阪大理)
 会 計 監 査 菅 宏 (近畿大理工)

- 幹 事 ○ 阿 竹 徹 (編集, 東工大)
 稲 葉 章 (企画, 阪大理)
 上 平 初 穂 (会計, 生命工研)
 ○ 小 川 英 生 (庶務, 東京電機大理工)
 ○ 猿 山 靖 夫 (企画, 京都工芸繊維大)
 ○ 橋 本 寿 正 (企画, 東工大工)
 藤 田 幸 久 (企画, 兵庫医大)
 村 上 幸 夫 (編集, 阪市大理)
 山 崎 淳 司 (庶務, 早大理工)
 ○ 山 村 雅 一 (会計, 東海大医)

- 編 集 委 員 村 上 幸 夫
 (阪市大理, 溶液化学) 委員長
 阿 竹 徹
 (東工大工材研, 固体熱容量)
 木 村 隆 良
 (近畿大理工, 溶液および生体関連物質)
 十 時 稔
 (東レリサーチ, 高分子熱分析)
 北 村 進 一
 (京都府大農, 糖類の熱分析)
 新 居 淳 二
 (三重大教育, データベース)
 山 室 修
 (阪大理, 固体熱容量)

地域編集委員

- 北 海 道 嶋 田 志 郎 (北大工)
 東 北 横 林 洋 子 (東北大教養)
 関 東 横 川 晴 美 (物質研)
 北 陸 伊 佐 公 男 (福井大工)
 中 部 月 向 邦 彦 (名大農)
 中国・四国 川 路 均 (広島大工)
 九 州 占 部 美 子 (九大工)

5. 1995年度事業計画 (1994. 10. 1~1995. 9. 30)

① 集会関係

- 1) 委員会2回 (大阪1回, 東京1回), 幹事会5回 (大阪1回, 東京4回), 庶務幹事会3回 (東京3回), 編集委員会4回 (大阪4回), 小委員会 (選挙, 東京1回)
- 2) 熱測定応用研究グループ会合2回 (大阪1回), 熱力学データベース作業グループ, 分圧ソフト開発作業グループ

- 3) 第30回記念熱測定討論会 (1994. 10. 31~11. 2, 大阪 千里ライフサイエンスセンター)
- 4) 第31回熱測定討論会運営委員会1回 (1995. 6, 予定)
第31回熱測定討論会は1995. 10. 2~4, 名古屋 (世話人 八田一郎) で開催予定
- 5) 第21回通常総会 (1994. 11. 1, 大阪)
- 6) 第29回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」(1995. 1. 18~20, 東京)
- 7) 第30回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」(1995. 7. 上旬, 京都)
- 8) 第18回熱測定ワークショップ「Dynamic DSCの有用性と問題点を探る」(1994. 12. 5, 東京)
- 9) 第19回熱測定ワークショップ「高温化学熱力学の本格的展開を目指して(仮題)」(1995. 3, 東京)
- 10) 第20回および第21回熱測定ワークショップ
テーマ, オーガナイザー募集
- 11) 講演会
「中性子散乱と熱測定」(1994. 10. 17, 大阪)

② 共催・協賛・後援関係

- 協 賛 : 第15回日本熱物性シンポジウム (主催: 日本熱物性学会, 1994. 10. 18~20, 富山)
: ジェランと関連多糖類に関する国際ワークショップ (IWGRP) (主催: ジェランガム共同研究グループ, 1994. 11. 14~15, 大阪)
: 第4回「基礎研究の振興と工学教育」シンポジウム (主催: 日本工学会, 1994. 12. 19, 東京)
: 金属学会シンポジウム「半導体材料製造プロセスの高温物理化学」(主催: 日本金属学会, 1995. 1. 12, 名古屋)
: 金属学会セミナー「材料創出の熱力学」(主催: 日本金属学会, 1995. 1. 23~24, 東京)

③ 出版関係

会誌「熱測定」の発行 (Vol. 21, No. 4は1,250部, Vol. 22, No. 1-3は1,200部)
会員名簿 1,300部

④ グループ活動

- 1) 熱測定応用研究グループ 前年度に準ずる
見学・講義の会 (1994. 11. 16, 大阪)
- 2) 熱力学データベース作業グループおよび分圧制御ソフト開発作業グループ 前年度に準ずる

⑤ 国際協力

- 1) 活動は前年度に準ずる

- 2) IUPAC国際化学熱力学会議 (1996年) ICCT-96
の開催準備
- 6. 1995年度収支予算 (1994. 10. 1~1995. 9. 30)

| 項 目 | 予 算(円) |
|-----------------------|------------|
| 収 入 | 10,672,000 |
| (I) 会費収入 | 5,820,000 |
| 正会員会費 (870名) | 4,350,000 |
| 学生会費 (30名) | 90,000 |
| 維持会員会費 (69口) | 1,380,000 |
| (II) 事業収入 | 4,350,000 |
| 会誌発行収入 | 2,400,000 |
| 30回討論会収入 | 200,000 |
| 29,30回講習会収入 | 1,750,000 |
| (III) 名簿発行費 (前年度繰越より) | 300,000 |
| (IV) 雑収入 | 202,000 |
| 支 出 | 10,672,000 |
| (I) 事業費 | 6,400,000 |
| 会誌発行費 | 4,750,000 |
| 名簿発行費 | 1,000,000 |
| 研究グループ | 80,000 |
| ワークショップ・講演会 | 300,000 |
| 31回討論会準備金 | 200,000 |
| 国際協力費 | 20,000 |
| 予備費 | 50,000 |
| (II) 管理費 | 4,272,000 |
| 会議費 | 300,000 |
| 交通費 | 900,000 |
| 事務局費 | 2,472,000 |
| 通信費 | 300,000 |
| 消耗品費 | 250,000 |
| 雑費 | 50,000 |
| 差引残高 | 0 |

7. その他

- 1) IUPAC国際化学熱力学会議 (1996年) への学会としての取り組み
- 2) 第4回国際および日中合同熱測定シンポジウムへの学会としての取り組み